別記様式第２号（第４条第２項関係）

|  |  |
| --- | --- |
| 課題番号：R01-139 | ※バイオバンク記入欄 |
| 研究課題名：  　　　リキッドバイオプシー法を用いたストレス応答small RNAの網羅的解析 | |
| **＜1.研究の目的＞**  　本研究では、近年のゲノム解析の発展により注目を集めているsmall RNAについて、マウスを用いたストレス研究を発展させる予備実験としての利用を視野に、ヒト血漿で発現しているsmall RNAの網羅的発現プロファイルを得ることで、ヒトとマウスで保存されているsmall RNAを明らかにすることを目的とする。そのため、検体の採取や保管状況の異なるバンクからの検体を用い、現在のsmall RNA解析法の汎用性を検証するため、精神関連疾患を含む患者の対照コントロールとしてつくばヒト組織バイオバンクに保管されている人間ドック受診者を健常者サンプルとして利用する。 | |
| **＜2.研究対象者＞**  　2019年7月1日から倫理審査承認時までの期間に同意を得た人間ドック受診者(健常者として採取) | |
| **＜3.研究期間＞**  2020年4月23日〜2024年3月31日 | |
| **＜4.研究の方法＞**  つくばヒト組織バイオバンクから分譲された人間ドック受診者由来血液検体からsmall RNA を抽出し、次世代シーケンス解析によるsmall RNA発現プロファイルを取得する。その後、マウスを用いたストレス負荷実験と比較することで、マウスとヒト間での保存性の評価を行う。さらに２次スクリーニングとしてNanoString等を用いてバリデーションを検討する。 | |
| **＜5.試料・情報の項目＞**  「診療で採取した組織、血液をつくばヒト組織バイオバンクセンターで保管することについてのお願い」、及び「筑波大学附属病院で診療を受けられる患者さんへ」により同意の得られた患者試料・情報  　□組織（対象臓器： 対象疾患：　）  ■血液試料（血漿）  　□その他試料（　）  　　　□臨床情報（　） | |
| **＜6.試料・情報の第三者への提供について＞**  該当なし | |
| **＜7.試料・情報の管理について責任を有する人＞**  　筑波大学　ゲノム生物学研究室　村谷匡史 | |
| ＜8.研究機関名及び研究責任者名＞  　筑波大学　ゲノム生物学研究室　村谷匡史 | |
| ＜9.本研究への参加を希望されない場合＞  　患者さんが本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。 | |
| ＜10.問い合わせ連絡先＞  　筑波大学附属病院：〒305-8576　茨城県つくば市天久保 2-1-1  　所属・担当者名：つくばヒト組織バイオバンクセンター　　担当　竹内朋代  　電話・FAX：029-853-3715（土日祝日を除く９～17時）  　メール：bank298@hosp.tsukuba.ac.jp | |